

NEWS RELEASE

2025年12月1日

-未来の水中工事-2025 大阪・関西万博への出展の軌跡 タブロイド紙の発行

青木あすなろ建設株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:望月尚幸)は、2025年日本国際博覧会(以下、万博)の「未来の都市」パビリオンにてコマツと共同で出展した「未来の水中工事」の取り組みをまとめたタブロイド紙『"未来の水中工事"出展の軌跡』を発行しました。

<u>タブロイド紙(PDF, 5.7MB)</u>

本紙は、青木あすなろ建設が取り組む「未来の水中工事」における社会課題の解決を目指す姿勢、実現する決意、そして関連する社会貢献活動を記したものです。

特に、大阪・関西万博「未来の都市」パビリオンで出会えた皆様からは、未来をともに考える大切な時間をいただきました。

当社は、万博を通じて得られた多くの出会いや学び、そして皆様からのご声援を糧に、「未来はみんなで変えられる」という想いを胸に、持続可能な社会の実現と新たな未来の創出に向けた挑戦を続けてまいります。

(参考) 当社ニュースリリース

2024. 12. 06

EXPO スクールキャラバンに参画し、小・中学校で出前授業を実施しました

https://www.aaconst.co.jp/news/news-release/20241206/

2024, 12, 26

ミャクミャクがいっぱい!大阪本店を大阪・関西万博仕様にラッピング!

https://www.aaconst.co.jp/news/news-release/20241226/

2025. 03. 10

-未来の水中工事-2025年日本国際博覧会の展示プレイスを初公開

https://www.aaconst.co.jp/news/news-release/20250310/

■2025 07 29

大阪・関西万博 「未来の都市」パビリオン 夏休みイベント「Future City WEEK」

8/5「青木あすなろ建設 未来を描くサンドアートイベント」

https://www.aaconst.co.jp/news/news-release/20250729/

●2025.09.19 当社サステナビリティ活動

未来を担うZ世代の学生と共に「日経未来社会共創ゼミ」に参加しました

https://www.aaconst.co.jp/csr/detail/post-15386/

以上

2025年9月10日 Z世代対象 日経未来社会共創ゼミ

「未来は変えられる! ~私たちが取り組む社会課題~」

「日経未来社会共創ゼミ」を開催しました。テーマは「未来は変えられる! ~私たちが取り組む社会課題~」。会場の日本経済新聞社大阪本社 には、全国から66名の大学生・高専生が集まりました。

第一部は、「誰もが活躍・命や暮らしを守る「未来の水中工事」大阪・関西 万博で世界に発信」と題した、青木あすなろ建設2025大阪・関西万博 出展プロジェクトリーダーとサブリーダーによる基調講演。「未来の水中 工事」を軸に、防災・減災はもとより、再生可能エネルギーやブルーカー ボンの推進、また未来の働き方への取り組みなどについて話しました。 第二部は、「未来は変えられる。社会課題に対し、今できること・これから 取り組むべきこと」と随した会場全体セッション。まずは参加者が数名ずつ のグループに分かれ、それぞれ事前に考えてきたことや、基調環済を聞い て感じたことなどを議論しました。その後、代表して数名の学生が、基調 講演を行った2名に向けて疑問点などを質問。未来の当事者となるZ世代 らしく、各々が高い関心や危機感を持った活発なやり取りとなりました。







2025年10月13日大阪•関西万博閉幕

万博出展を経て、 さらなる未来へ

184日間の万博開催期間中、「未来の都市」パピリオンには延べ約 190万人が来館しました。「未来の水中工事」展示プレイスの反響 も大きく、「面白くてタメになる。子どもも大人も楽しめた」「未来 の働き方が変わることを実感、建設業のイメージも変わった。子ど もにとって将来の職業の選択肢になる」といった感想や、「実証を 進めているリアルな展示で万博らしく、明るい未来を実感した」 「目指す方向性、技術力がすごい。期待できる」「社会課題の解決に 向け、1日も早い具体化を望む」といった激励が寄せられました。







当展示プレイスの責任者は「多くの方の来館」に感謝しています。さまざまな出会いが

あり、いただいた声にも励まされました。これまで経験したことのない充実した

184日間でした」と振り返ります。そして「この出展が、多くの方にとって未来を考え行動するきっかけになれば幸いです。 特に未来を担う世代に期待しています」と話します。万博がなければ出会えなかったさまざまなつながりを大切に、 ここからが次のスタート。決意新たに、"未来はみんなで変えられる"ことを、これからも実践していきます。



2025年現在、「未来の水中工事」実現に向けて、国内の海岸や河川で「水中施工ロボット」による実証を進めています。実現すれば、離もがどこからでも活躍。少子高齢化・担い手 不足の解決が図られ、未来の働き方が変わります。また、防災はもとより、CO2を出さない再生可能エネルギー、CO2を吸収するブルーカーボンの推進等により、地球温暖化・自然 災害から命や暮らしを守ります。そんな未来はもう目の前です。ぜひ引き続きご期待ください。







「未来の都市」とは







「未来の都市」パビリオンは、万博史上類を見ない、博覧会協会と業界の垣根を越えた協賛12者が共同で創り 上げたパピリオン。全長150m、幅約33mという万博会場内屈指の規模を誇る大空間で、地球温暖化、生態系 の危機、資源枯渇、地球の汚染といったさまざまな地球課題、社会課題を知り、それらを各社が誇る最先端技術 でどのように解決できるのか? どういった幸せな未来都市を築くことができるのか? をあらゆる角度から体感 できるパピリオンとして人気を博しました。

出展が決定してからというもの、協質12者、博覧会協会及びクリエーターの間では約2年間にわたり、未来の 都市のストーリー構築や展示内容について繰り返し熱い難論が交わされ、さまざまな調整が行われました。 そして日を追うごとに、万博がなければ決して出会わなかったであろう関係者間の思いは一つに。「未来はみんな で変えられる」という大きなメッセージを集せて、好奇心をくすぐる15のアトラクションによる、子どもも大人も







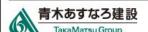
HITACHI













ショートムービーをサンドアート、実写、CGを繰り交ぜ上映しました。



HOWE 「未来を描く水中工事」

サンドアート(波流する砂をモチーフ)で演出。 「水中工事は進化する」



[80919859]

「未来の水中工事」展示内容

『誰もが活躍・人々の命や暮らしを守る「未来の水中工事」」をテーマに、水陰両用ブルドーザが時代を超えて進化した水中施工 ロボットの大型模型とともに、瞬向を凝らした3種類のムービーなどで「未来の水中工事」を紹介。リアル感・わくわく感いっぱいの、



2水中施工ロボットの

水中施工ロボットのコンセプトマシンを木物そっく りに、精巧に再現した大型模型を展示。実物の70% サイズでありながらも圧倒的な存在感を放ち、 大迫力のスケールモデルとして注目を集めました。



🕤 インタラクティブ演出 床に海辺の映像を投射。来場者が歩くと砂が広が り、それをどこからともなく現れた水中施工ロボッ トがされいに整地します。足跡を追いかけるように

動き回るロボットが要らしく、人気の的に、

3 3Dディスプレイによる

頭上には3Dディスプレイを設置し、水中工事によ りもたらされた豊かな海と、そこに生息する水中 生物たちの様子を投影。ムービー上映の合間に は、水中動物がメインスクリーンに飛び込むダ イナミックな演出も実施。

4 エ事シーンのジオラマ

展示プレイスの入り口には、水中第工ロポットが 活躍する工事シーン(川、ダム、海)の模型を設 置。小さな水中施工ロボットがゆっくりと回り続 ける動きのあるアイキャッチ展示で、来場者を出



「未来をつくる水中工事」 未来の地球を舞台に演出

青木あすなろ建設が目指す「未来の水中工事」とは

これまでの歩み

コマツは、1970年に開催された大阪万博の翌年に、ラジコン操縦の水降両用プル ドーザの量産を開始しました。青木あすなろ建設は、現在も国内で稼働中の5台すべてを 所有。東日本大震災の災害復興を含む1,200件以上の水中工事で活用し、知見と 施工技術を蓄積してきました。



現在の社会課題

私たちが解決したい社会課題は大きく2つです。一つは、気候変動・地球温暖化の進行 により激甚化・頻発化する自然災害への対応。大雨、台風、地震といった自然災害 が増えるほど、危険な水原での工事ニーズが増大しています。もう一つは、建設業界の 人手不足。現状はもとより、今後さらに少子高齢化による担い手不足が深刻化すると 考えられています。

未来の水中工事

社会課題解決に向け、現在青木あすなろ建設とコマツは、水中施工ロポットの開発に取り 組んでいます。水中施工ロボットは、最新のICT機能・自動制御を備えた電動式、環場から 遠く離れた快適なオフィスから遠隔操縦でき、熟練技術も必要としません。誰もが安全かつ 容易に扱え、作業の大幅な効率化・迅速化が可能。正に現在の水中工事を一新する、「未来 の水中工事」を叶えるロボットなのです。防災・減災、災害復旧はもとより、再生可能エネル ギーの推進や薬場・干潟の造成(ブルーカーボン)などによる地球温暖化防止にも貢献。 2023年7月のコンセプトマシン完成以降、河川や海岸などで実駐を重ねています。

J	水陸両用ブルドーザ	水中施工ロボット
最大水深	7m	50m(コンセプト機は7m)
燃料-動力	軽油・ディーゼルエンジン	電動・パッテリー
操縦場所	現場付近で目観で操縦	安全・快適な室内から遠隔操縦
操縦技術	職人技が必要で極めるのが難しい	自動制御システムで誰でも簡単にできる

<水中施工ロボット活躍の場>

- 河川、ダムの堆積土砂を取り除き、災害を防ぐ
- (ブルーカーボン生態系の創出)



未来への想いを伝え・ 広げる

2024年11月~2025年3月

内閣官房事業「EXPO スクールキャラバン」参画

万博随幕前の4か月間、「EXPOスクールキャラ パン!(出前授業)として、全国の小中学校9校を 訪問しました。「万博」をキーワードに「未来の水中 工事」などを紹介し、防災、地球温暖化、未来の 働き方などについて質疑応答、ディカッションを 実施。予想を超える子どもたちの反応に手応え を感じるとともに、より分かりやすく発信しなけ ればならないと思いを新たにしました。







2025年1月23日 佐渡市立加茂小学校 5年生 24名

江戸川区立第五幕医小学校 4年生100名 ○ 2025年3月17日

水陸両用ブルドーザ模型の機能体験

② 2025年3月21日

小金井市立小金井第一小学校 6年生 115名 で身近な場所に呼び出して楽しめました。

展示プレイスの上映ムービー「未来を描く水中工事」を手掛けた サンドアーティスト・Kohei氏を招き、会場内の「フューチャー ライフェクスペリエンス」にてライブペインティングを開催。 Kohei氏と青木あすなる建設、砂つながりで実現したムービー 及び本イベントは、来場者に深い印象を残しました。さらに、 「未来の都市」パビリオン内のコリドールAには、サンドアート 体験コーナーを設置。こちらも多くの来場者で振わいました。

未来を描くサンドアートイベント



2024年12月~2025年10月

東京本社&大阪本店を万博仕様にラッピンク

建設大阪本店ビルの正 面・うめきた側側面を万



博仕様にラッピング。また、東京本社ビルの第一京 浜国道側エントランス・鉄道側(JR田町~浜松町 間)に設置のデジタルサイネージにて、万博PR動 画を放映しました。



2024年4月~2025年10月 特設サイト「ミライの水中工事」

「未来の水中工事」の一端を体験できるパーチャル探検 ツアーを公開。未来の水中工事コントロールセンター を舞台に水中施工ロボットが活躍する世界を描いた フルCGアニメーションなどを届けました。また、スマート フォンを使った水中第丁ロボットと水勢両用ブルドーザ のAR体験を提供。連機を実物大または1/10スケール







